

事業番号	07 05 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	食品産業の活性化支援事業			部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室
				実施期間	H20 ~	E-mail	jizake@pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・長期化するコロナ禍において、国内外で健康の維持や増進に役立つ機能を保持する機能性表示食品等の高付加価値食品への注目が集まっているとともに、食品ロスなどに対する社会的課題に対する取組が必要となっている。

・原材料・燃料の高騰により食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、製造業者同士が互いに食品の品質や味を競い合い「県産品のブランド力」を強める取組が求められている。

2 事業目的

・食品製造業振興ビジョン2.0に基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指す。

・県内食品産業の各メーカーが品評会を通じて、食品の品質等の向上を図る。

3 事業目的を達成するための取組

- ①長野県食品製造業振興ビジョンの推進による新食品開発支援
 - ・当初予算のとおり
- ②長野県を代表する食品の品質向上のため品評会開催
 - ・当初予算のとおり
- ③食品ロス削減など社会的課題に向けた取組による新商品開発
 - ・補助事業の執行実績を踏まえ減額
- ④食品産業の輸出向けHACCP対応整備支援
 - ・食品産業輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金の執行見込増に伴う増額

4 成果指標

(推移の凡例 ↗ : 改善 ↘ : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし)

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	食品に係る研究開発人材の育成数	人	0	21	↗	20	↘	20	△	R4年度と同程度の研究開発人材を確保するため、R4年度見込値を目標値とする	
②	品評会参加事業者数	者	132	160	↗	160	→	160	△	過去の実績に基づいた目標値とする	
③	フードテックに係る商品化の支援を受けた件数	件	-	-	—	-	—	10	△	商品化に向けた取組を支援するため、食品事業者からの相談対応による支援数10件を目標とする	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★労働生産性(2020年度比)	%	2018 (H30)	7,674	2019 (R1)	7,438	2020 (R2)	7,125	2025 (R7)	11
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	★加工食品の輸出額	億円	2019 (R1)	53.7	2020 (R2)	56.5	2021 (R3)	71.8	2027 (R9)	124
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターの支援による商品化件数(2023~2027年度の累計)	件	2019 (R1)	21	2020 (R2)	20	2021 (R3)	23	2027 (R9)	100

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					合計 (予算現額)	決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	うち今回補正額	うち一般財源			
R5年度	0	999,489	79,624	77,621	15,091	1,079,113	△	1.5
R4年度	284,835	94,336	△ 65,400	△	△	313,771	312,186	1.5
R3年度	636,400	19,966	0	△	△	656,366	135,811	1.5

事業名	食品産業の活性化支援事業	部局	産業労働部	課・室	日本酒・ワイン振興室
-----	---------------------	----	-------	-----	------------

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
1	「食」と「健康」ラボ機能形成事業費		15,565 千円	15,221 千円	予算現額 14,456 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	国内外のトレンドを読み解き、伝統技術を踏まえた新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を大学と連携して実施（委託先：信州大学） 講義数：1コマ120分×60コマ		
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催（負担先：長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会） 新商品開発企業件数：5件		
3	食品関係認証取得支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援（委託先：（一社）長野県食品工業協会） 相談支援件数：40件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
2	「発酵・長寿」ブランド形成事業		2,315 千円	3,705 千円	予算現額 5,516 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の発信	委託	県産発酵・伝統食品への理解を深めてもらうため、簡単・時短、栄養バランスの取れたレシピの開発及びレシピ動画を作成し、HPにて発信（委託先：広告代理店等） 新規レシピ掲載数：4件		
2	「発酵・長寿」プロモーション事業	委託	全国発酵食品サミット等へ出展し、県内食品企業が得意とする発酵技術や伝統技術を駆使した食品を全国に発信（委託先：（一社）長野県食品工業協会） 食品展示即売への出展回数：1回		
3	「発酵・長寿NAGANOの食」発信事業	負担金	県産発酵食品の魅力等を広く発信し、ブランド価値の向上を図るため、民間コンソーシアムと協働で発酵食品の優位性や需要拡大に向けたイベントを開催する。また、発酵食品企業間のコラボレーションによる新商品開発に向けた検討を行う。 新商品開発に向けた検討会回数：2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
3	食品産業技術高度化推進事業		2,086 千円	2,010 千円	予算現額 2,010 うち今回 0 補正額 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・豆腐・醤油）の製造技術力及び品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会等を実施 品評会の開催件数：6回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
4	食品産業の輸出向けHACCP等対応整備支援事業	636,400 千円	292,835 千円	予算現額 <u>1,048,001</u> うち今回 補正額 <u>79,751</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	食品産業輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金	補助金	食品製造事業者等の海外展開を推進するため、輸出先国等の規制や条件に対応した施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成 事業実施：3件、1,048,001千円	
2	輸出事業計画策定等の支援	補助金	食品事業者の輸出産地形成を具体的に進めるための輸出事業計画策定等に係る経費を助成 補助対象者：0 事業実施予定なし	

細事業 No.	細事業名	R3年度 予算現額	R4年度 予算現額	R5年度 予算
5	グローバルな「NAGANOの食」価値向上推進事業	0 千円	0 千円	予算現額 <u>9,130</u> うち今回 補正額 <u>-2,130</u> 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	サステナブルな「信州フードテック」転換支援	委託	食品事業者における食品のアップサイクル等の新商品開発などへの転換を支援するため、コーディネータを設置 セミナーの開催：4回	
2	サーキュラフード（CF）ビジネスの促進事業補助金	補助金	県産農畜水産物の食品加工適応性について試作研究・評価等し、販路開拓に必要な経費を助成 事業実施：2件、870千円	
3	グローバルな「NAGANOの食」ブランド化支援	委託	輸出相手国のニーズ・規制に適合したマーケットインによる食品開発に係るPR・需要調査等を実施 セミナー等の開催：5回	